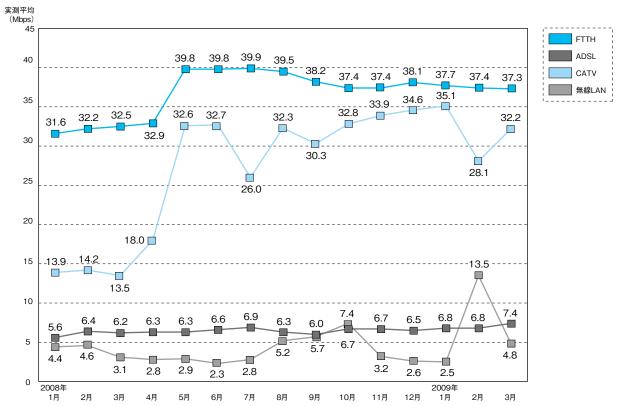
#### CATVが急激に増速し、頭打ちのFTTHに迫る

FTTHとCATVの平均ダウンロード速度が2008年5月に急上昇した。その後、FTTHは頭打ち状 態であるが、CATVは一時的な低下は見られるものの全体として増速基調にあり、幹線の光ファイ バー化が進んでいることがわかる。ADSLはゆるやかに増速し、普及が一段落した後も地道な速 度改善・維持が続いている。普及が進みアクセスポイントが増加中の無線LANでは大幅な上下動が 見られる。これは、アクセスポイントにより速度や接続環境に差があることが原因と考えられる。

資料3-1-5 回線別実測平均速度



©2009 speed.rbbtoday.com

#### 実測平均速度について

資料 3-1-5 から 3-1-9 で集計した回 線速度のデータは、RBB TODAY のス ピード計測サイト (\* 1) のログデータ がもとになっている。調査期間中にこ のサイトにアクセスして自分の環境の 回線速度を計測したすべてのユーザー の結果データを、所定の条件でフィル タリングして異常なデータを取り除 き、集計して平均速度を求めている。 このサイトを使って得られるデータ は、個々の環境やそのときの条件など に依存するが、独自プロトコルを使っ

てできる限り信頼性の高い値が出るよ うに工夫している。また、当該サイト での月間計測数は数十万を超え、統計 データとしても十分な精度と信頼性を 持っている。

計測に際しては、この独自プロトコ ルを搭載した計測専用サーバーを用 い、測定サーバー側の条件を一定にし ている。また、計測サーバーは、プロ バイダー間のバックボーンネットワー クの影響を受けにくくするために、IX に近い場所に設置している。加えて、

同時に接続を許可するユーザー数を制 限することで、帯域を確保できない状 態で計測することがないようにし、生 じる誤差を最小限に抑えている。

また、発信地(都道府県)と回線種 別については、最新の分析手法を導入 して IP アドレスを用いた解析を行っ ており、必要十分なデータの質と量を 確保している。

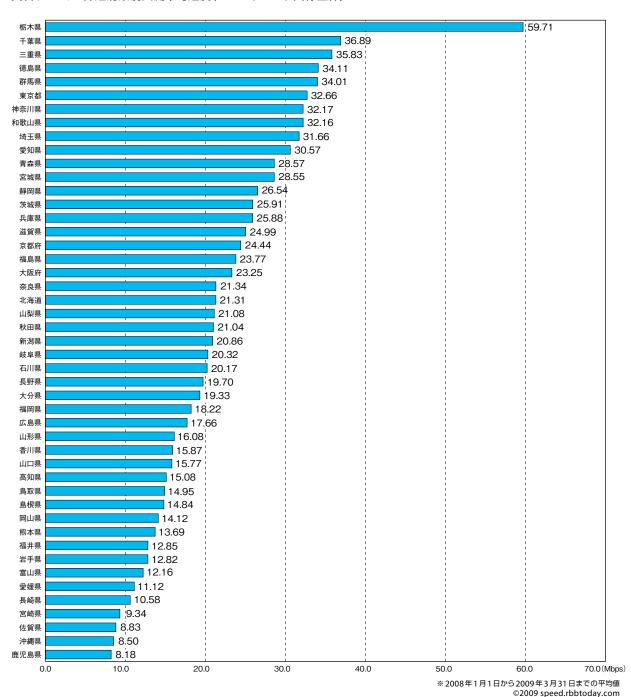
(\*1) RBB TODAYのスピード計測サイト http://speed.rbbtoday.com/

実測スピード②

#### ブロードバンド回線全体のダウンロード平均速度は栃木が圧倒的に高速

測定データのIPアドレスなどを用いて分析した結果、発信場所(都道府県)を特定できた216万件 のダウンロード速度データから算出した。栃木県が圧倒的に高速であり、2位の千葉県、3位の三 重県を大きく引き離している。過去の統計と比べると、上位の顔ぶれが大きく変化しており、昨年、 一昨年のトップ3だった東京都、神奈川県、埼玉県がすべて6位以下に沈むという驚くべき結果と なった。これに対して、下位2県(沖縄県、鹿児島県)の顔ぶれはこの3年間変わらない。

資料3-1-6 都道府県別実測平均速度(ブロードバンド回線全体)

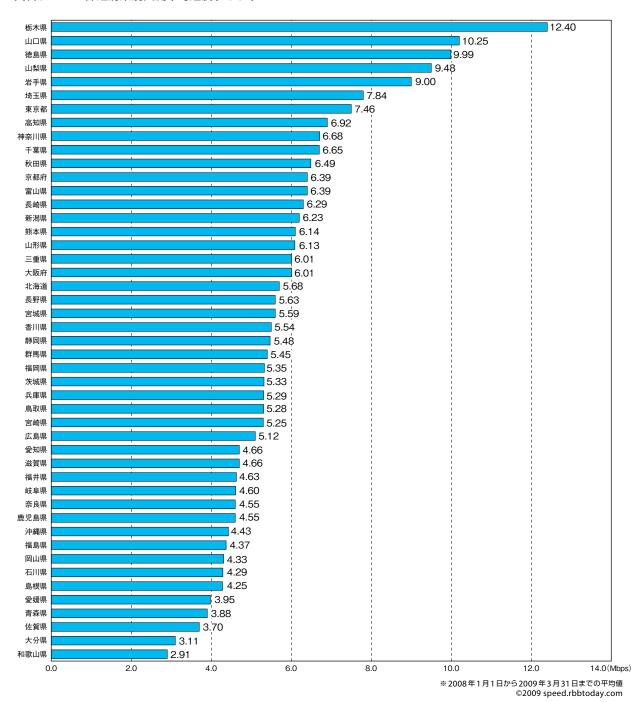


実測スピード③

#### 全体に増速傾向のADSLも栃木がトップ、2位は昨年首位の山口

測定データのIPアドレスなどを用いて分析した結果、回線種別がADSLであり、発信場所(都道 府県)を特定できた35万件のデータから算出した。ブロードバンド回線全体に続いて、ADSLの みでも栃木県がトップに立った。ADSLの速度は前回の減速から全体に増速傾向に転じており、 6Mbps以上が前々回の11都県、前回の7都県から19都県に増えている。なお、和歌山県は前回 は3.39 Mbpsで最下位(47位)だったが、それを下回る2.91 Mbpsで今回も最下位となった。

資料3-1-7 都道府県別実測平均速度(ADSL)

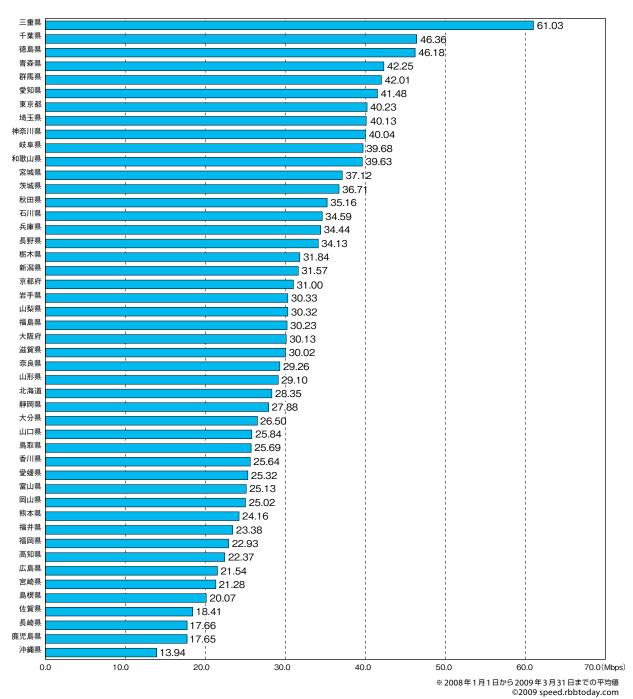


インターネット白書/©1996-2012 Impress R&D

## FTTHのダウンロード平均速度は三重が圧倒的に速く、60Mbpsを超える

測定データのIPアドレスなどを用いて分析した結果、回線種別がFTTHであり、発信場所(都道府 県)を特定できた114万件のデータから算出した。三重県が60Mbpsを超える圧倒的な高速でトッ プとなった。2位は千葉県だが、前回(2007年~2008年)見られた関東勢の上位独占は消えうせ、3、 4位には徳島県、青森県がランクインしている。なお、前回トップの東京都は7位に沈んだ。問題は 前回に続いて最下位の沖縄県で、他の都道府県との間のスピード格差が恒常化してしまっている。

資料3-1-8 都道府県別実測平均速度(FTTH)

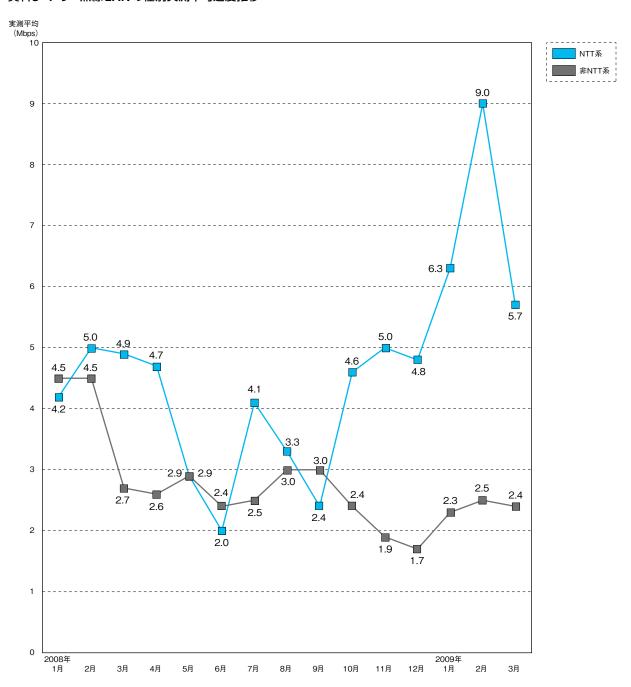


実測スピード⑤

### NTT系の無線LANは増速基調だが、非NTT系の速度は頭打ち

回線別実測データからNTT系無線LAN、非NTT系無線LANと判別できたものを分析したところ、NTT系が増速基調にあることがわかった。アクセスポイントによる速度や接続環境の差が原因と考えられる上下動はあるが、全体では速度改善が続いている。これに対して、非NTT系無線LANについては、2008年3月以降、頭打ち状態で、3Mbpsを超えられない状態が続いている。この状態が続くことは無線LAN普及の妨げになりかねない。上昇に転じることを期待したい。

資料3-1-9 無線LANの種別実測平均速度推移



©2009 speed.rbbtoday.com



# 「インターネット白書ARCHIVES」ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年~2012年までに発行したインターネット の年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以 下のウェブサイトで公開しているものです。

#### http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- ●記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- ●収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の 著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- ●著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- ●このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくま で個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- ●収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名お よび年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記くだ さい。
- ●オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D (初期は株式会社インプレス)と 著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全 に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的 な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D | 🖂 iwp-info@impress.co.jp